

令和3年度

第7回 阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

令和3年度第7回 阿波市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和3年10月21日(木)  
開会 午後2時00分  
閉会 午後2時25分
- 2 場 所 阿波市役所 本庁 3階 306会議室
- 3 出席委員
- |          |         |
|----------|---------|
| 教 育 長    | 高 田 稔   |
| 教育長職務代理者 | 庄 野 憲 二 |
| 委 員      | 森 勝 正   |
| 委 員      | 重 清 由 充 |
| 委 員      | 大戸井 美 生 |
| 委 員      | 西 渕 利 江 |
- 4 会議出席者
- |              |         |
|--------------|---------|
| 教 育 部 長      | 石 川 久   |
| 教 育 次 長      | 瀧 川 靖 治 |
| 教育次長兼教育総務課長  | 森 友 邦 明 |
| 学 校 教 育 課 長  | 坂 東 明   |
| 社 会 教 育 課 長  | 伊 坂 典 恭 |
| 学校給食センター所長   | 矢 部 泰 世 |
| (書記) 教育総務課主幹 | 滑 田 三 美 |
- 5 付議事項
- (1) 前回会議録の承認について
  - (2) 教育長の報告について
  - (3) 準要保護の認定について
  - (4) その他

会議の概要は、次のとおり。

【高田教育長】定例会を開会する旨を告げる。

(1) 前回会議録の承認について

【高田教育長】会議録について何かございますか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】「前回会議録について」を承認する旨を告げる。

(2) 教育長の報告について

【高田教育長】9月30日から10月21日までの、主だった教育委員会行事について報告。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】「教育長の報告について」を了承する旨を告げる。

(3) 準要保護の認定について

【高田教育長】事務局に説明を求める。

【坂東学校教育課長】準要保護の認定について説明。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】「準要保護の認定について」を了承する旨を告げる。

(4) その他

【高田教育長】委員、事務局に何かあるか尋ねる。

【伊坂社会教育課長】令和3年阿波市成人式の代替行事について説明

【重清委員】各町ごとの人数に、偏りはありますか。

【伊坂社会教育課長】各町の内訳は、吉野17、土成9、市場34、阿波29です。通知を出してから2週間ほど経つのですが、100人くらいは来るかなと思っています。

【庄野委員】12月30日の理由は何かありますか。

【伊坂社会教育課長】実行委員会を開き案を出したのですが、みんなと集まりやすい年末がいいという実行委員さんの要望が多かったのと、実行委員会後ラインで同級生に連絡がつく人だけに聞いてもらったら、やはり年末がいいということで、12月30

日に決定させていただきました。

【西淵委員】はじめは11月21日で連絡がきたのですが、帰省できない方が多いという意見でした。

【伊坂社会教育課長】それは理由があって、コロナの落ちつきが見えて最速で日程が組めるよう進めていたのですが、実行委員会を開いて集まりやすい日に変更してほしいという要望があったので、12月30日に変更させていただきました。

【大戸井委員】実行委員会は、いつから開いたのですか。というのは、吉野川市でしたら午前と午後に分けて成人式をするというニュースであったと思いますが、そういう検討ができるようなスケジュールで実行委員会が集まったのかなと思ひまして、質問しました。

【伊坂社会教育課長】実行委員会は、去年の秋くらいから、最終の代替行事を決めた実行委員会は10月2日に行いましたが、その時が第6回目です。その時にそういう説明をしたうえで12月30日に決まりました。

【大戸井委員】ちなみに次の成人式は、予定どおり行われる予定ですか。

【伊坂社会教育課長】今のところは、1月2日の予定で考えています。

【大戸井委員】吉野川市のように、午前午後に分けてするというような案は実行委員会の中にはなかったのですか。

【伊坂社会教育課長】ありませんでした。11月6日代替行事の実行委員会をもう1回開きます。その後に、来年1月2日開催に向けての実行委員会を、令和4年の対象者の実行委員会を開きたいと思っております。

【重清委員】この集合写真には、市長さん副市長さんはお見えになるのですか。

【伊坂社会教育課長】入らないです。あくまでも成人者のみです。

【森委員】少なかったら、希望を出していた人も、少ないのならやめようかと言い出すのではないのかという不安もあります。

【西淵委員】レンタルの着物をキャンセルしている方も多いです。キャンセルをした後に決まったので。借り直しはとでもしてやれないという親の方もおられ、参加を諦める方もおられます。夏ぐらいまでは、みんなキャンセルをせずに待っていたらしいのですが。その時にないって言われて、みんなキャンセルをできてしまっていたらしくて、もう1回というとなかなか難しいようです。

【伊坂社会教育課長】12月30日ですが、着物でなくて普通の服で、華美でない服装で来ていただいて、是非とも集合写真だけでも来ていただけたらということで。

【西淵委員】一応声は掛けているみたいですが。

【高田教育長】もし夏に開催するとしたら、やっぱり女の人は着物の人が多いのですかね。

【西淵委員】それは判断が難しかったです。やっぱり本人が暑いですよ。着たいだろうけど暑いだろうと思います。

- 【高田教育長】コロナのことが心配ですし、また今年と同じようなことが来年も起きないとは限らないし、自分達の間で感覚でしたら、以前は軽微な服装でもいいだろうということで実際にシフトした自治体もあると思いますが、また最近は元通りになっているでしょ。このあたりのご意見も伺いながらと思いつつも、やっぱり様々な意見があると思われまます。
- 【西淵委員】個人個人の気持ち全然違います。着物を着たいという女の子とそんなに興味ないという子も中に入っているでしょう。
- 【高田教育長】阿波市が設定した予定が真逆の季節になったこと、今回おそらく他の自治体もそれに近かったと思います。先ほども言っていたように、貸衣裳も何か月前には借りておかないといけないし、お金も生じてくるので、本当に難しい判断だと思います。
- 【大戸井委員】成人式をするしないの判断は、どれくらい前に決まったのですか。
- 【伊坂社会教育課長】本市は早かったです。
- 【大戸井委員】第6波のこともあるし。
- 【伊坂社会教育課長】第6波も控えていますので。もし年末年始にまた感染が広がってきたら、そういうこともまた考えないといけないのですが。
- 【大戸井委員】いつまでにとというのが。
- 【伊坂社会教育課長】そのへんが難しいです。だから11月の早い段階という案が出ました。
- 【西淵委員】21日だったらほとんど無理だったらしいです。
- 【伊坂社会教育課長】実行委員会さんに言われました。非常に難しいです。できるだけことは考えて設定しています。
- 【西淵委員】もう少し集まってほしいですね。
- 【伊坂社会教育課長】100人ぐらいはほしいと思っていたのですが。
- 【高田教育長】ほかに何かございませんか。
- 【庄野委員】一つお願いします。19日の徳新の社説欄に不登校の件が載っていたと思います。徳島県でも千人を超えたと載っていたと思いますが、阿波市の状況はどうでしょうか。
- 【高田教育長】令和3年度不登校対策連絡協議会がまだ開催されていませんので、令和2年度のものでよろしいでしょうか。総数は小学校が18、中学校が37となっております。
- 【庄野委員】今年はこれより増えていますか。はっきりしないですか。
- 【高田教育長】そうですね。中学校に入って減る場合もあるのですが、本市は中学校に行ったら増えることが多いです。全国的にそういう傾向があります。
- 【庄野委員】コロナに関連して書いていて、対策もいろいろと講じていかないといいないと思いますが、話し合いの場がまだなのですね。

【高田教育長】そうですね。それはもちろん学校教育だけでなく、いろんな関係機関と一緒にあって、いわゆる福祉関係とか民生児童委員また育成センターとか、そういったサポートされる方が一緒にあって、その子をどうサポートしていくかということの不登校の連絡協議会を、毎年夏に計画をしていたのですが、夏がどうしてもできないということで、年明けには開催する予定であります。

【大戸井委員】不登校の方の、中学校を卒業した後の追跡調査みたいなのは、阿波市はあるのでしょうか。例えば、中学校を卒業したらそれ以上は義務教育でないから、今度は不登校でなく引きこもりという表現になろうかと思いますが、それも1つの大きな社会問題になっていると思います。その人たちがきちんと社会に復帰できるのかという心配が一方ではあるのですが。

【高田教育長】中学3年生卒業後の進路状況を各学校にあげてもらっています。進学という子が多かったように思います。その他にも1人家事手伝いと報告を受けています。

【瀧川教育次長】そうです。1人だけです。みんな進学しました。

【高田教育長】委員さんがおっしゃるように、卒業後、引きこもりの形に近い子どもさんもいるのではと思います。ただそのことに関しましては、今の育成センターは中学生だけでなく、そのような子どもさんにも声をかけていただいて、将来に対する自立支援をしていただけるようなサポートもしていただいています。そういったことをしっかりお知らせする必要があると思っております。

【大戸井委員】今問題になっているのが、8050問題で、いわゆる80歳の両親に50歳の引きこもりのお子さんが、両親の年金を頼りに生活をしていることがありまして、1つの社会問題になっています。いわゆる途切れることなく、それぞれの自治体がそういうことを把握して、社会問題としてサポートしていかないと、切れてしまった時にどこがどういうふうにそれを補っていくのか、ある日突然50歳になって社会問題になりましたということで、切れ目のない何かそういうものが必要だと思いますので、それに関連して質問させてもらいました。

【高田教育長】子どもだけでなく大人も含めて福祉的な支援をするということは必要だと思っております。本日の議事が全て終了したので、閉会する旨を告げる。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和3年10月21日

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

委 員

教育総務課主幹